

# 銀河

全北海道退職教職員の会網走支部通信

No.89

2013年1月10日

道退教網走支部事務局

〒090-0836

北見市東三輪1丁目83-35

Tel 0157-31-7551 Fax 0157-31-7559



## 新年あけましておめでとうございます

組合員の皆様は年末の総選挙で奮闘しゆっくり身体を休ませていることと思います。総選挙の結果は、自民党の大勝と報じられていますが“民主党の悪政ノー”と“小選挙区制の弊害”（4割の得票で8割の議席）が重なって作られたものであり、決して自民党への支持が増えたからではありません。

とは言え、私たちの生活にとっては厳しい現実が待ち受けていることに変わりはありません。

年金の受給額は削減され、消費税をはじめ生活にかかわる各種の税金は年々増えてくるからです。（詳しいことは学習してください）

“年金者は悠々自適”という生活は出来ない仕組みが作られつつある中、私たちが黙っているわけにはいきません。

生活を守る仲間とともに『楽しく、かしこく、しなやかに』活動していくことを期待して年頭のあいさつにします。

道退教網走支部支部長 木村 正寿

## 退職9年と6ヶ月過ぎて

・2004・4月退職から数えて、9年目を過ぎようとしています。早いものですね！！

前年の誕生で、60歳を迎えてから10年が経過し、次の誕生で70歳台になります。50・60鼻垂れ小僧と卒業です。70・80働き盛りだそうですね。(渋沢栄一の言葉)

・退職時早速ブロック幹事に当てられ現在進行中です。

遠紋ブロックの会員は当時、遠軽2人 紋別3人だったと思います。総会開催時や旅行の参加者確認などのまとめやくで、毎月何か・・・ある と言うことはありません。

まとめ役のときは、遠軽の福井さんとか、岩澤さんに協力していただきました。

そこで、ブロックを「遠軽」と「紋別」に分けてはどうでしょうか。

また、予算上きゅうくつであれば、幹事行動費1000円は、削減しても良いと思います。

お互い親睦・交流を深め「思い・願い」などかなえる組織で、豊かな老後をごせるボランティアとして考え行動してきました。

・署名用紙遅れました。完了しました。工夫しながら2人で取り組みました。

・今はジョギングからローラースキーに変えて汗流しております。

コース途中の藻別川には、9月中旬に鮭の小集団確認し、10月中旬には、大集団になっていました。

「雪虫と 再会初日 一尾とは」

10月13日のジョギング途中で・・・その後も多くは見られませんでした。

(思いつくままに・・・紋別 田中 2012・10・19)

## 払い込み用紙通信欄での近況報告

特別支援NPOを母さん方とたちあげました！ 生田原安国 栄 和子

自治会長、民生児童委員、社協役員、Rネット（自治会協議会、行政、民生委員協議会、社協等で構成）の専門部員、障がい（児）者家族会役員と町協で超多忙です。いろいろと勉強させられています。薬を飲みながらお医者さんに「手抜きをするか減らせ」との注意を受けている状況です。

留辺薬町 荒 武文

## 新しい光を

北見市 宮津 優



退職した時、本を整理すると書棚はガランとしてしまった。読むこともないままのツンドクの本もかなりありムダを強く感じた。以来なるべく本は買わないことにし図書館を活用することにした。そしてこの20年近く毎年100冊前後の本を借り読んできた。ところが近ごろ私のその唯一の楽しみである読書生活に異変が生じてきたのだ。

昨夏のこと、外に出ると眼前が薄い膜に覆われ周囲の情景が霞んで見えてき、車の運転はままならぬものになってきた。本や新聞を読むのも不自由になってきた。眼科医師の診断によると白内障がかなり進行し、その治療には手術を要することだった。白内障ってなんぞや？50代で2～3人に1人 70～80代の高齢者になるとほとんどの人がかかるといわれている。さてさて目がどうなるんだろう。白内障は眼の中でレンズの役割をしている水晶体の中のたんぱく質が変性して濁り、見えにくくなる病気だという。そのため濁りを取り除く手術が必要で、超音波水晶体摘出術の手法で角膜を切開し濁った水晶体を超音波で細かく砕いて吸引し、その後眼内レンズを挿入するのだと医師は説明してくれた。

このままでは良くなるらないというので意を決し北見日赤眼科に入院することになった。看護師が来て手術の説明をした際、手術の恐怖から心を落ち着かせようとBGMにポピュラー曲のアルバムをリクエストした。だが手術が始まると、まるで目ん玉をえぐられるかの衝撃におののきひたすら終了を願うだけだった。ちなみに2回目はこれが同じ手術かと思うほど淡々と短時間に終えてしまったのは不思議だった。

翌日、眼の覆いはずすと、まるで居間の蛍光管を取り替えたように眼前が明るくなった。今まで黄みがかかった灯りが人工色のような青白い光でまばゆかった。そっと病室の窓から空を見上げると、そこには透明かつ鮮麗なコバルトブルーの色彩が果てしなく広がっていることに驚いた。いったい今まで自分が見ていた空、その青い色とは何だったのだろうか……。取り返しのきかない損失に莫大な時を経てきたことに悔しい思いがするほどだった。

1週間の入院で約5万円。これからは人工の眼内レンズに部品交換した私のまなこをかつと見開きこの世の森羅万象をよ〜く見つめたい。そして日々新しい光に導かれて人生街道を歩んでいきたい。もう少しだけでも……。



・女性の活躍が目だったオリンピックが、終わった。食器を洗いながら見入るので、感動が走ると目頭が熱くなって進まない。座って真剣に見ていると、次第に疲れる。

・一方、謝罪をした野田総理の記者会見「明記していなかった消費税について国民の皆様にお詫びをし、心苦しいがお願いをしたい。」と。数の多数で決めてしまった10%増税。そして、社会保障に当てるといいながら、“公共事業には充分配分する”という添付までは、発言されなかった。今までだって、福祉へ配分をするといって増税され、ほとんどパスされた。今度こそと誰が思うだろうか。そんなこと、決定してから言うなんて!!感動をいただいた選手達の顔が、曇って見える。

・18日(土)、うた声喫茶があった。選曲した「ヒロシマの有る国で」の歌詞、“♪♪8月の青空に～被爆者の声～悔し涙が生き続ける苦しみが～大地の上に同じ生命を得たのに～故国の土を踏むことも家族と暮らすことも許されない～♪♪”というヶ所は、67年たったのに昨年の「3、11」と重なった。そして原発の再稼働させたのだ(野田)。

・いやなことが多くて滅入ってしまうが、集まってきた方達と生きる喜びを歌った。4年後のオリンピックも元気で、また見ていたいと思う。

飯田禎子

## ゆきとどいた教育をもとめる全国署名

今年の署名数は404筆でした。去年より45筆多く集まりました。

石崎さん、田中さん、山本さん、弦巻さん、石川さん、奥野さん、木村さん、小竹さん、菊地さん、福井さん、曾我部さん、蓑島の12人から届きました。皆さんありがとうございました。来年はもっと多くの方から届くことを期待しています。

### 『銀河』原稿募集のおねがい

内容は自由です。近況、日頃考えていること、写真、短歌、詩、川柳、絵などなんでもけっこうです。事務局へ郵送、FAX Eメールなどでお届けください。

住所 090-0836 北見市東三輪1丁目83-35 網走教育会館

FAX 0157-31-7559

Eメール [minosima@rose.plala.or.jp](mailto:minosima@rose.plala.or.jp)

No 89号は、原稿が集まらず 4ページでの発行となりました。